



藤井内閣府副大臣・岡下内閣府大臣政務官の北方領土視察について

10月19日、20日、藤井比早之内閣府副大臣、岡下昌平内閣府大臣政務官が根室地域を訪問しましたので、その概要をお知らせします。

1 北方領土の視察

- ・ 納沙布岬から北方領土を視察しました。
- ・ 当日は晴天で、納沙布岬からは北方領土が非常にきれいに見ることが出来ました。
- ・ 副大臣、政務官は納沙布岬の視察後は、栽培漁業研究センターや、戦前に根室と国後を繋いでいた海底ケーブルの陸揚庫を視察しました。



納沙布岬からの視察

2 元島民等との懇談

- ・ 副大臣、政務官は千島会館において、元島民や後継者の方々と懇談を行いました。
- ・ 副大臣は、「若い世代が北方領土について学ぶことが大切。元島民の皆様のお話を受け止め、しっかりと進めてまいりたい。」と述べておりました
- ・ 政務官は、「総理に来ていただきたいという元島民の皆様の声を必ずお伝えする」と述べておりました。



元島民等との懇談

3 隣接地域の視察

- ・ 副大臣、政務官は北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)、北方展望塔(別海町)、北方領土館(標津町)、羅臼国後展望塔(羅臼町)など、隣接地域内の交流・啓発施設等の視察を行いました。
- ・ 副大臣は、記者団に「国民一人一人が身近なこととして捉え、北方領土の大切さを認識する必要がある」との思いを述べられました。



羅臼展望塔の視察